

# 松江市小中学校のキャリア教育について

平成28年4月

松江市教育委員会学校教育課

## 1. 松江市小中学校 キャリア教育目標

ふるさと松江を愛し、夢と希望をもち、力強く未来を切り拓く児童生徒の育成

## 2. 重点

- ①小中学校の発達段階に応じた系統的な指導により、各教科・領域や行事など全教育活動を通して基礎的・汎用的能力を育成する。
- ②「社会体験学習」や「地元職業人出前授業」など地域ぐるみのキャリア教育を通して、「生きること」「学ぶこと」「働くこと」「ふるさとのよさ」を学び、豊かな人間性や社会性、主体性を育成する。

## 3. 松江市のキャリア教育の考え方

- ①子ども一人一人がふるさとを愛し、夢と希望をもち、力強く未来を切り拓く人として育つよう、小中一貫教育を活かし、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力・態度を培うキャリア教育を進める。
- ②キャリア教育は全ての教育活動を総括する教育で、地域ぐるみのキャリア教育はふるさと教育とつながるものである。人との関わりや学び合いの中で課題の発見や解決を図り、主体的・協働的な学びの構築を図る。
- ③「たての一貫教育」を活かして、学園内でキャリア教育の意義の共有化や情報交換を行うとともに、小中それぞれの発達段階に応じた指導により、各教科・領域や行事など全教育活動を通して、基礎的・汎用的能力を育成する。
- ④「よこの一貫（環）教育」を活かして、地域の「ひと・もの・こと」との関わりや体験学習を通して「生きること」「学ぶこと」「働くこと」「ふるさとのよさ」を学び、豊かな人間性や社会性、主体性を育む。そして地域ぐるみのキャリア教育を推進し、地域の方々が学校の授業に参画する「学校授業型」と、学校の児童生徒が地域に出かけて体験学習をする「地域体験型」により、児童生徒のキャリア発達を促していく。  
「学校授業型」：地元職業人による出前授業「まつえ『子ども夢☆未来』塾」や、学校支援ボランティアが参画する授業など。  
「地域体験型」：地元企業（事業所）での「社会体験学習」や地域探検や社会見学など。
- ⑤中学生の社会体験学習は、小中9年間のキャリア教育の集大成の体験学習の場として、連続5日間の社会体験学習を推奨し実施校を拡げていく。企業（事業所）の協力が必要となる体験学習等では、教育委員会と産業観光部が連携して支援する企業（事業所）を開拓し、地域ぐるみで児童生徒を育てる体制を構築する。